

# 受験生のみなさんへ

## 入試に関するアドバイス

受験生のみなさんからよくいただく質問に、お答えします。

### 出願について

**Q** 前期A・M3・M2方式の試験日自由選択制について教えてください。

**A** 試験日自由選択制は、複数の試験日の中で、受験生が都合のよい日を選択し、受験する制度です。これにより、併願校との試験日の重複が解消されるだけでなく、本学を複数回受験することも可能となります。本学においては、前期A方式の2月3日(土)・4日(日)の2日間、前期M3・M2方式の2月1日(木)・2日(金)の2日間で試験日自由選択制を採用しています。

**Q** 英検などの外部語学検定試験を活用できる入試はありますか？

**A** 英検やTOEIC、TOEFLなどを活用できる入試方式があります。活用できる入試方式は、一般前期A・M3・M2・プラスセンター方式、後期、特別選抜I 英語等有資格型(自己推薦入試)です。詳細は各方式のページを参照してください。

**Q** 外国の高等学校に留学経験があります。海外帰国生徒特別選抜の出願資格はありますか？

**A** 外国の高等学校(在外教育施設を含む)へ1年間、留学した場合でも出願することができます。なお、出願資格について不明な点は事前に入試課に確認してください。

**Q** 地方入試は行っていますか？

**A** 一般公募推薦において、本学キャンパス(愛知県日進市)のほかに金沢にて実施します。一般入試 前期M3・M2方式(2月1日(木)・2日(金)の2日間)において、本学キャンパス(愛知県日進市)のほかに東京・浜松・岐阜・津・金沢・大阪・岡山・福岡にて実施します。

**Q** 前期A・M3・M2方式では、どの方式が有利でしょうか？

**A** どの方式で受験しても有利・不利はありません。したがって、あなたの得意科目が活かせる方式で受験してください。

**Q** 複数方式、複数学科を一括同時出願する予定ですが、高等学校で発行してもらった調査書は何通必要ですか？

**A** 一括同時出願する場合は1通が必要となります。

**Q** 自宅にパソコンやプリンターがありません。インターネット出願はできますか？

**A** パソコンは自宅以外のものでも構いません。プリンターがない場合は、インターネット出願の際に画面に表示される「インターネット出願ガイド」に記載されている必要事項を書き写して送付してください。

### 試験当日について

**Q** 身体に障害がある場合の受験には、何か特別な措置をしてもらえるのでしょうか？

**A** 受験に際し、特別な措置を希望する場合は、出願前に入試課に相談してください。

**Q** 受験のための宿泊施設を紹介してもらえますか？

**A** 旅行代理店を通じ、地下鉄東山線の各駅(特に名古屋駅・栄駅)周辺の、交通の便の良い宿泊施設を紹介します。詳細は、本学受験生サイト「nagoyagaidai.com」に公開している「2018年度学生募集要項・出願の諸注意」にて確認してください。

### 試験内容について

**Q** 英語リスニングについて教えてください。

**A** 英語リスニングは、前期A方式「外国語」と一般公募推薦「適性検査I」において実施されます。実際に音声問題を聴いて、解答する時間は前期A方式では20分、一般公募推薦では15分です。前年度の英語リスニング問題(音声データ)を、本学受験生サイト「nagoyagaidai.com」からダウンロード可能です。

### その他

**Q** 入学後に転学部・転学科・転専攻はできるのでしょうか？

**A** 学則上、転学部・転学科・転専攻の制度はありますが、現実的には大変困難です。自分の興味や将来の目標等を明確にし、学部・学科・専攻の特徴をよく調べて出願してください。

**Q** 過去の問題集はありますか？

**A** 教学社から問題集(赤本)が出版されていますので、書店で購入してください。なお、本学のオープンキャンパスや個別見学など、来学者のみ無料で進呈します。

**Q** 奨学金を受けたいのですが、詳しいことを教えてください。

**A** 本学では、おもに日本学生支援機構の奨学金制度を利用しています。申込みは、入学後に説明会を開催し、受付します。

**Q** 入学試験の順位や高等学校の調査書が、入学後、留学支援制度の適用に影響しますか？

**A** 影響しません。適用の基準は、大学入学後の授業成績やTOEFLの点数が重視されます。